

風水害について

大雨や強風はわたしたちに何度も大きな災害をもたらしています。
ふだんから気象情報に十分注意し、避難の際もみんなで協力しましょう。

**大雨情報をキャッチ！
こんなときの
わが家の安全対策。**

**強風注意報
暴風警報**

大雨注意報
大雨によって被害が起こる
おそれがあると
予測される場合。

大雨警報
大雨によって重大な災害が
起こるおそれがあると
予測される場合。

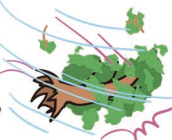
雨の強さと降り方

(1時間雨量:mm)

1時間の雨量(mm)	予報用語	雨の降り方、災害発生状況
10以上～ 20未満	やや強い雨	ザーザーと降る。 この程度の雨でも長く続く時は注意が必要。
20以上～ 30未満	強い雨	どしゃ降り。 側溝や下水、小さな川があふれ、小規模ながけ崩れが始まる。
30以上～ 50未満	激しい雨	バケツをひっくり返したように降る。 道路が川のようになる。山崩れ・がけ崩れが起きやすくなり、都市では下水管から雨水があふれる。危険地帯では避難の準備が必要。
50以上～ 80未満	非常に激しい雨	滝のようにゴーゴーと降り続く。都市では地下室や地下街に雨水が流れ込むことがある。マンホールから水が噴出する。土石流が起こりやすい。多くの災害が発生する。
80以上	猛烈な雨	息苦しくなるような圧迫感があり、恐怖を感じる。大規模な災害が発生するおそれが強く、厳重な警戒が必要。

風の強さと吹き方

(平均風速:m/秒)

平均風速(m/s)	おおよその時速	風圧(kg重/m ²)	予報用語	速さの目安	人への影響	屋外・樹木の様子	車に乗っていて	建造物の被害
10以上 15未満	～50km	～11.3	やや強い風	一般道路の 自動車	風に向かって 歩きにくくなる。 傘がさせない。 	樹木全体が 揺れる。 電線が鳴る。 	道路の吹き流しの角 度、水平(10m/s)、 高速道路で乗用車 が横風に流される感 覚を受ける。	取り付けの不完全な 看板やトタン板が飛 び始める。
15以上 20未満	～70km	～20.0	強い風	高速道路の 自動車	風に向かって 歩けない。 転倒する 人もいる。 	小枝が折れる。 	高速道路では、横風 に流される感覚が大 きくなり、通常の速 度で運転するのが 困難となる。	ビニールハウスが壊 れ始める。
20以上 25未満	～90km	～31.3	しっかりと 体を確保 しないと 転倒する。 		車の運転を続ける のは危険な状態と なる。		鋼製シャッターが壊 れ始める。風で飛ば された物で窓ガラス が割れる。	
25以上 30未満	～110km	～45.0	非常に強い風			立って いられない。 屋外での 行動は危険。 	樹木が 根こそぎ 倒れ始める。 	ブロック塀が壊れ、 取り付けの不完全な 屋外外装材がはが れ、飛び始める。

地下道
(アンダーパス)
に注意！

アンダーパスとは、道路や鉄道など立体交差する場合、その下を通る地下道をいいます。大雨・洪水などにより、アンダーパスの道路は真っ先に浸水してしまいます。地域のアンダーパスの場所を把握し、もしもの時に備えて迂回路を想定しておきましょう。

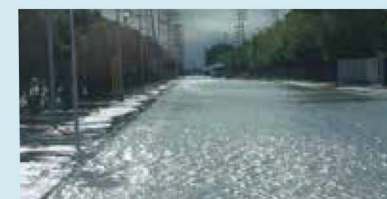
市内豪雨災害時危険箇所(アンダーパス) 6図、7図、8図、10図 参照

氾濫の種類

雨量の増加によってもたらされる氾濫には、川から水があふれたり堤防が決壊して起こる「外水氾濫」と、市中の排水が間に合わず、排水路などからあふれ出す「内水氾濫」の2タイプがあります。

内水氾濫 地域に大雨が降り雨水がたまる

その場所に降った雨水や、周りから流れ込んできた水がはけきれずに溜まっておきる洪水。川の水位が何mに達すれば警報を出すなどの対応が難しいため、注意が必要。



起こりやすいが危険性は少ない



外水氾濫 上流で大雨が降り川があふれる

大雨の水が川に集まり、川の水かさが増し堤防を越える。あるいは堤防を決壊させて川の水が外にあふれておきる洪水。氾濫が起きると一気に水かさが増しますので、最大の注意が必要。



あまり起こらないが
起こったときには大きな被害

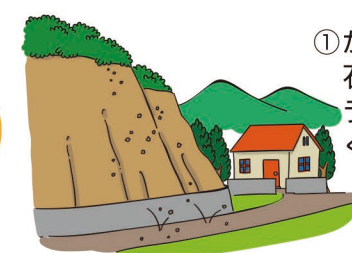


避難の情報と対象者	河川名	利根川	石田川		蛇川	早川	渡良瀬川
	観測所名	八斗島	牛沢	下田島	細谷	前島	高津戸
自力で避難が可能な方 【避難勧告の目安】	氾濫危険水位(m)	4.80	3.81	3.12	3.78	4.30	5.00
避難に時間を要する方 【避難準備・高齢者等避難開始の目安】	避難判断水位(m)	3.90	3.10	2.70	3.20	3.70	4.40

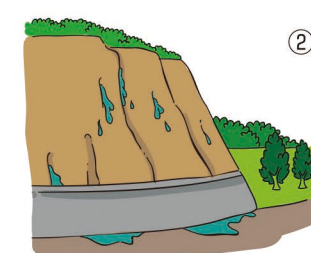
土砂災害の前ぶれ(前兆現象)として、どんなことが起こるの？

知ろう！

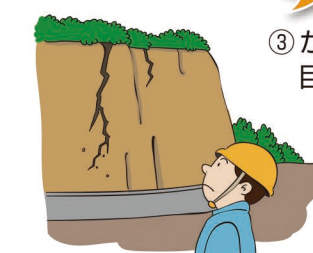
がけ崩れの 前兆現象



①がけから小石がバラバラと落ちてくる。



②がけから水が湧き出ている。

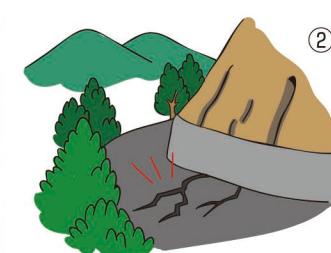


③がけに割れ目が見える。

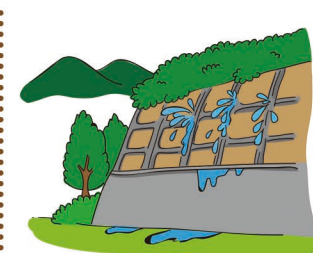
地すべりの 前兆現象



①沢や井戸の水がにごる。



②地割れができる。



③斜面から水が噴き出す。

土石流の 前兆現象



①川の流水がにごり、流木が混ざりはじめる。



②雨は降り続けているのに川の水が減る。



③山鳴りがする。

危険箇所内の重要性の高い箇所について

土砂災害防止法に基づき、群馬県が計画的に基礎調査を実施し、危険箇所内の重要性の高い箇所について、「土砂災害特別警戒区域」と「土砂災害警戒区域」の指定及び見直しを行っていく予定です。

土砂災害 特別警戒区域(レッドゾーン)

建築物に損壊が生じ、住民に著しい危害が生じるおそれがある区域

土砂災害 警戒区域(イエローゾーン)

土砂災害のおそれがある区域

